

かぶれ治療

本日はご来院頂きありがとうございます。かぶれ(接触性皮膚炎)の治療法についてご説明します。

今まで使ってもかぶれなかったものに急にかぶれたり、赤くなったり痒くなったり、場合によっては痛くなることもあります。なかなか厄介なものです。

なぜ、かぶれるのか

ご自身の体調やストレスなどが関係して、かぶれ易い状態になっているところに、かぶれの原因のもとに触れる事で、肌が反応して、赤くなったりするのです。

つまり、「お肌の赤信号」です。

治療方法

①塗り薬

基本的にステロイド(副腎皮質ホルモン)を使います。

ステロイドを怖がられる方がおられますが、1~2ヶ月の使用では副作用はありません。安心して下さい。

顔 ロコイドまたはボアラなど
体 マイザー、ボアラ、リンデロンVGなど
頭 トプシムローション、リンデロンVGローションなど

一日に2~3回塗布して下さい

②飲み薬

赤みが強い場合は、セレスタンを1週間ほどお出します。

- 原因が判らないことが多いです。
かぶれの原因と思われるもの(シャンプー、毛染め、化粧品、薬品など)をまず腕の内側の皮膚に塗っていただき、30分ほどして、かぶれてないかチェック(オープン、パッチテスト)して頂きます。何回もかぶれを繰り返す

場合は、色々な成分を肌に塗って調べるパッチテストを行なう事があります。(このテストでどの成分にかぶれるか判っても、ご使用になっているものに、この成分が入っているか判らない事が多いです。)

- かぶれを起こしていると言う事は「肌が敏感になっている」と言う事です。新しい化粧品や薬を使う時は、オープン、パッチテストで安全性を確認してからご使用下さい。
- 蕁麻疹体質、アトピー性皮膚炎の方は、かぶれが強くなります。出来るだけ早めにご来院下さい。
- ストレスが関係します。十分に睡眠を取る様にして下さい。
- 強い日光や刺激物は、接触性皮膚炎の増悪因子です。避けて下さい
- 入浴の制限はありませんが、強く擦らないで下さい。

肌の状態によって、かぶれを治す薬にかぶれることがあります。この際は使用を中止してご連絡下さい。

芦屋JSCクリニック
院長 水谷次郎

TEL 0797-31-3131